

# 児童・少年の非行と 呼ばれる行動の背景と その対応について

児童虐待防止法の制定以降、虐待相談件数は制定以前の17倍を超えており、一時保護にいたる児童数も増加しています。一方で、小中高校の不登校は全国で17万人、自殺に至っては児童数減少の中で過去最高を更新しており、児童少年を取り巻く環境は、福祉・教育の支援の年齢であっても厳しいものがあると考えられます。そのような中、18歳の成人年齢と少年法の改正により、課題を抱える児童・少年の支援は大きくかわろうとしています。

新潟県地域生活定着支援センターは、課題を抱える児童・少年たちの背景を考え、教育、福祉、司法の連携の中で、どの様な取り組みができるのか、当日は長野大学より小林万洋教授をお迎えし、講演いただくとともに、参加者の皆様と考え、深めていく時間を持ちたいと考えます。

## 2022.8.30

(火) 13:30~16:10

参加費 無料

定員 100名 (ZOOM)

主催 公益社団法人 新潟県社会福祉士会  
新潟県地域生活定着支援センター

共催 新潟トラブルシューターネットワーク  
申込み

Googleフォーム

URL QRコード

※スマホなどで  
読み込めない方は  
ご連絡ください



問合せ

新潟県地域生活定着支援センター  
(担当 平栗・坂井)

電話番号 025-281-6010

FAX 025-281-5504

13:00 受付開始

13:30 開会

13:35 新潟県地域生活定着支援センターについて

14:05 講演 小林万洋氏

「少年矯正から見た人間形成の根  
底とその支援」



公立大学法人長野大学  
社会福祉学部教授  
京都大学教育学部教育心理学科卒業  
後、法務省入省。  
法務省矯正局少年矯正課企画官、川  
越少年刑務所分類審議室長、東京少  
年鑑別所所長、仙台矯正管区長を經  
て、2021年4月より現職。  
臨床心理士、公認心理士。  
30年以上にわたり、少年少女の支援  
等に携わってきた実務経験を有する。

15:35 休憩

15:45 質疑応答

16:10 閉会